

## 茨城県の路線概要



## 交通機関

JR水戸線 笠間駅

\* JR水戸線笠間駅から起終点の石寺へは公共交通機関がありませんので、タクシー利用となります。

ダイヤ等問合せ先 JR東日本 (050-2016-1600)

## 行事

- つつじまつり【笠間つつじ公園】 4月中旬～5月中旬
- 陶炎祭(ひまつり)【笠間芸術の森公園】 4月29日～5月5日
- 笠間のまつり【笠間稲荷神社周辺】 8月中旬
- 菊まつり【笠間稲荷神社他】 10月中旬～11月下旬
- ストーンフェスティバル【笠間芸術の森公園】 11月初旬

## 美術館

- 茨城県陶芸美術館 笠間市笠間2345 TEL 0296-70-0011  
9:30～17:00 月曜日(祝日の場合その翌日)・年末年始は休館
- 笠間日動美術館 笠間市笠間978-4 TEL 0296-72-2160  
9:30～17:00 月曜日(祝日の場合その翌日)・年末年始は休館

## 楽しいハイキングのために

- 野の花や木は、自然の中でこそ美しいものです。自然のままに残しましょう。
- 歩きながらの「タバコ」はやめましょう。火の元には十分注意しましょう。
- 自分のごみは自分で持ち帰りましょう。
- 案内板や標識はみんなの道しるべです。大切にしましょう。
- 交通の不便なところがあります。あらかじめよく調べておきましょう。

# コースのみどころ

## このみちは…

笠間駅と石寺を起終点とするこのコースは、古くから焼き物や門前町として栄えた笠間地区や、郊外の田園地帯をめぐる延長約13kmの一般向けの歩道です。

## 笠間稲荷神社

日本三大稲荷のひとつで、白雉2年(651年)の創建といわれています。祭神は宇迦之御魂神で五穀豊穡、商売繁盛、招福の神として年間を通して多くの参拝者が訪れています。国指定重要文化財の本殿は文久元年(1861)に建造され、後藤縫之助、弥勒寺音八、諸貫万五郎によって彫刻がほどこされました。

また、10月中旬～11月下旬にかけて境内を中心に行われる笠間の菊まつりでは、見事な菊人形や菊花壇などが飾られ、参拝者の目を楽しませてくれます。

## 笠間焼

安永年間(1772～1781)に滋賀県の信楽焼の技法を取り入れ製造したのが始まりといわれています。その後、嘉永年間(1850年代)に栃木県益子地方にその製法が伝わり、益子焼が始まりました。伝統的な笠間焼は、手作りのあたたかさや渋味が特徴ですが、現在、200名を超える作家が、伝統技法を受け継ぎながらも、自由に作陶を行っています。作家の個性の光る笠間焼は、市内各所のギャラリーやショップで扱われています。手びねりやろくろ等の陶芸体験のできる施設もあり、作陶の楽しみを味わうことができます。

## 佐白山

鎌倉時代に笠間時朝が笠間城を築いたといわれています。現在、頂上付近の城跡には豊城入彦命などを祀った佐志能神社があります。山頂近くの南面には石倉と呼ばれる展望のすばらしいところがあり、筑波や加波の秀峰を一望におさめることができます。

## 弥勒堂

鎌倉時代の宝治元年(1247)笠間時朝によって寄進された国指定重要文化財の木造弥勒仏立像の収蔵庫をかねて建設された、三間四方のお堂です。



【このコースに関するお問い合わせ】

## 茨城県 県民生活環境部 自然環境課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-2946

## 笠間市 市民生活部 環境保全課

〒309-1792 茨城県笠間市中央3-2-1 TEL 0296-77-1101

ここに記載した情報は、変更等の可能性がありますので、利用される場合は事前に確認をお願いします。



首都圏自然歩道

# 関東ふれあいの道

## 茨城県 4 焼き物とお稲荷さんへのみち

石寺～笠間駅



笠間稲荷神社

関東ふれあいの道は、

首都圏に残された美しい自然や歴史遺産などを”みち”で結び、

首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、常陸大宮市の御前山県立自然公園、笠間県立自然公園、

水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て、稲敷市に至る延長約255kmで

18コースにより構成されています。

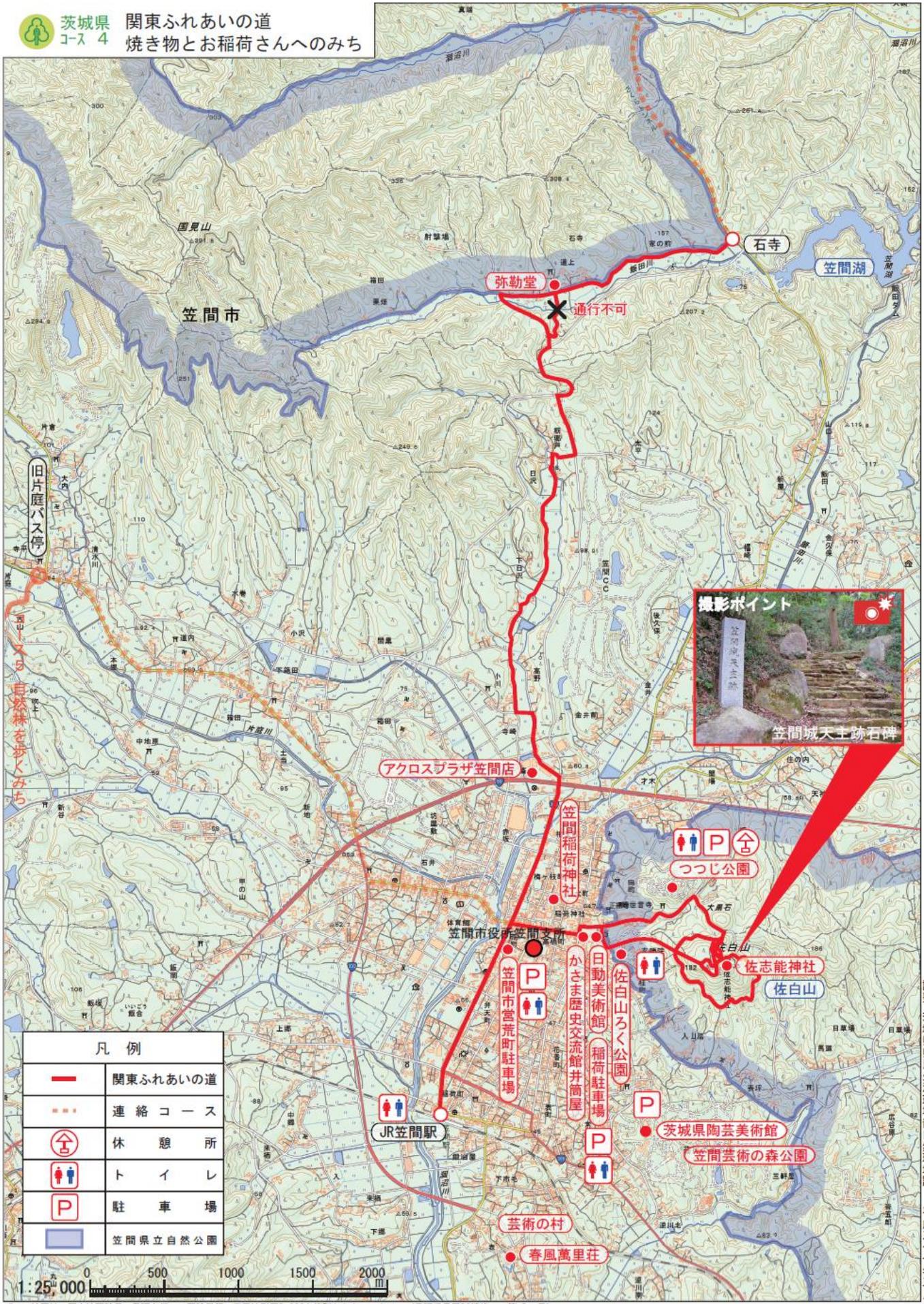
家族や友人と一緒に歩いてみませんか。



# 茨城県



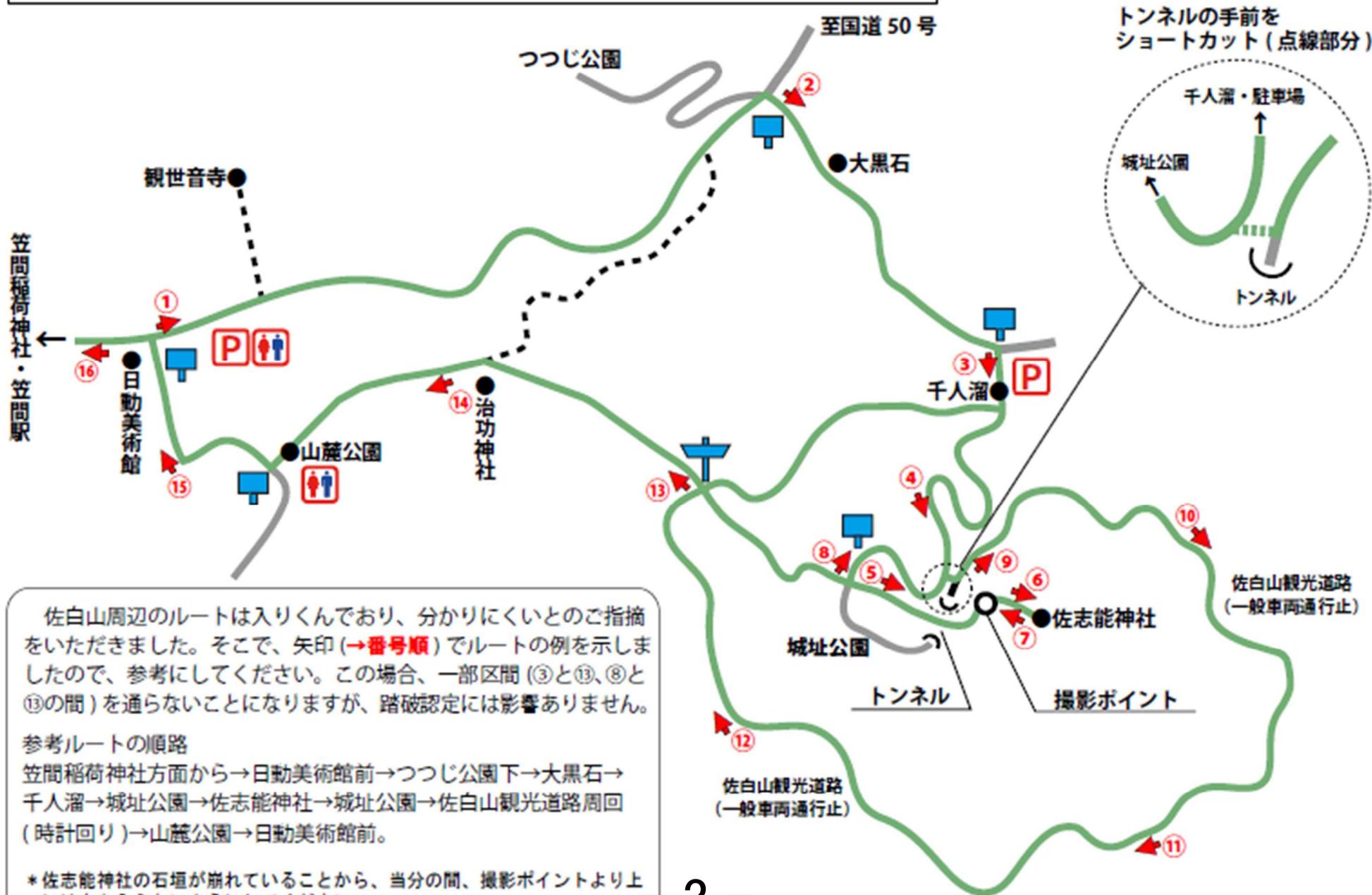
茨城県 関東ふれあいの道  
コース 4 焼き物とお稲荷さんへのみち



調整 茨城県民生活環境部自然環境課 平成三十一年三月

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号平30情複、第1216号)」

## 関東ふれあいの道茨城県コース④ 佐白山周辺の歩行ルート



佐白山周辺のルートは入りくんでおり、分かりにくいとので指摘をいただきました。そこで、矢印(→番号順)でルートの例を示しましたので、参考にしてください。この場合、一部区間(③と⑬、⑧と⑬の間)を通らないこととなりますが、踏破認定には影響ありません。

参考ルートの順路  
 笠間稲荷神社方面から→日動美術館前→つつじ公園下→大黒石→千人溜→城址公園→佐志能神社→城址公園→佐白山観光道路周回(時計回り)→山麓公園→日動美術館前。

\* 佐志能神社の石垣が崩れていることから、当分の間、撮影ポイントより上には立ち入らないようにしてください。